

土 木 課

港区浸水ハザードマップの改定について

1 改定の経緯

現行の「港区浸水ハザードマップ」は、平成16年5月に東京都が公表した「城南地区河川流域浸水予想区域図」を基に平成17年4月に作成したものです。

平成30年12月、東京都が「城南地区河川流域浸水予想区域図」を新たに公表したことから、今回、「港区浸水ハザードマップ」を改定しました。

2 変更となった主な内容

- (1) 想定降雨（総雨量589mm 時間最大雨量114mm
→総雨量690mm 時間最大雨量153mm）
- (2) メッシュサイズ（50m×50mメッシュ→10m×10mメッシュ）
- (3) 古川氾濫浸水想定区域（約80ha→約180ha）
- (4) 浸水深さ（0.2m～2.0m以上→0.1m～5.0m以上）

3 隅田川及び新河岸川流域

隅田川及び新河岸川流域（主に、新橋・虎ノ門・六本木・麻布台・赤坂地区等）については今回変更はありません。来年度、東京都が予定しているこの流域の新たな浸水予想区域図の公表に合わせ、「港区浸水ハザードマップ」を作成し直し、再度全戸配布を予定しています。

4 今後のスケジュール（予定）

- 令和元年10月～ 浸水ハザードマップ全戸配布
- 令和2年度 隅田川及び新河岸川流域浸水予想区域図の改定・公表（東京都）
港区浸水ハザードマップ改定・全戸配布予定